

衣類のお手入れ通信

夏本番。近年の暑さにより衣類にも変化が起きていて、下着から上に着るものまで吸汗性の高いものが増えています。また、「クール」という言葉がネーミングに使われている衣類をよく見かけます。冬は「ヒート」や「ホット」が多いですね。地球や自然の動きにまで対応した衣類の開発は服飾史の一時代になりそうです。

【正しい家庭洗濯。洗剤と洗濯物の適量とは】

ここ数年、家庭用洗濯機は機能が向上し、より多くの量が一度に洗えるようになりました。また、洗濯物を入れてスイッチを押すだけで、洗濯物の重さと、それに合わせた洗剤の量が表示されるなど、とても使い勝手がよくなりましたね。しかし、お客様方に一回に入れる洗濯物の量や洗剤の量をお聞きすると、びっくりするような回答をいただくことがあります。そこで今回は、正しい家庭洗濯と、洗濯物と洗剤の適量についてお教えしましょう。

夏物は冬物とくらべて薄手のものが多いので、一度により多くの枚数の洗濯物を洗うことができます。しかし、洗濯槽いっぱい、洗濯物を溢れんばかりに詰め込むのは量が多すぎます。量が多すぎると、特に横型の洗濯機では、洗濯槽内で洗濯物がうまく回転しないため汚れやシミがキレイに落ちません。また、洗濯物の量が少なすぎると、洗浄中に洗濯物同士が擦れあわないので洗浄力が低下してしまいます。

次に洗剤の量ですが、洗濯物の量に対して洗剤の量が少ないと、「洗濯中の再汚染」が起こりやすくなります。

「洗濯中の再汚染」とは、洗濯槽内に浮遊している、いったん剥がれた汚れが、洗濯物に再び付着してしまうことをいいます。洗剤には汚れが再び洗濯物に付かないようにする再汚染防止効果もあるのです。だからといって、ただ洗剤の量を増やせば良いというわけではありません。洗剤を適量以上に入れても、すすぎ回数も同時に増やさなければ洗浄能力はほとんど変わらないのです。なぜなら、通常のすすぎ回数では洗剤が衣類に残ってしまい、それが原因で変色を起こしてしまう危険性があるからです。

これらを考慮すると、家庭洗濯の洗濯物の適量は、洗濯槽の50%~70%ほどといえます。これくらいの量でしたら、洗剤の量も洗濯機や洗剤のケースに表示してある分量で問題ありません。「洗濯物を入れる量と洗剤の量は多からず少なからず」がベストです。

定休日：日曜日・祝日 営業時間：7時30分～19時

〒496-0901 愛知県愛西市佐屋町新田 1-6 TEL・FAX0567-26-9880 <http://105-929.com>

発行者：東郷俊博

愛知県愛西市、弥富市、蟹江町、飛島村、津島市、集配致します。